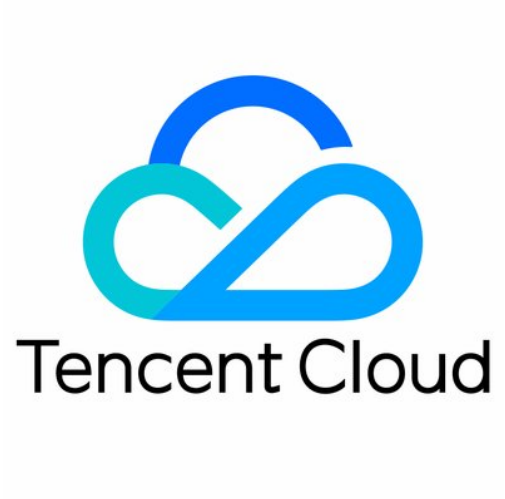
Content Delivery Network

よくある質問

製品ドキュメント



カタログ：

よくある質問
機能特性に関する問題

最終更新日：：2023-03-10 16:35:11

Tencent Cloud CDNは中国本土以外でのアクセラレーション機能を備えていますか？

- Tencent Cloud CDNは現在、中国本土以外でのアクセラレーション機能を備えています。世界中の70以上の国と地域をカバーする800以上の海外ノードを備え、お客様のビジネスにシームレスな海外アクセラレーションを提供します。中国本土以外のアクセラレーションまたはグローバルアクセラレーションを使用する必要がある場合は、円滑なアクセラレーション効果を確保するために、オリジンサーバーを海外にデプロイすることをお勧めします。オリジンサーバーが中国本土でデプロイされており、アクセラレーションエリアまたはオリジンサーバーが海外でデプロイされている場合、アクセラレーション対象エリアが中国本土にあるため、国境を越えたBack-to-Originのアクセラレーション効果は保証されません。

CDNを追加した後、アクセラレーションサービスを利用するためにオリジンサーバーを再構成する必要がありますか？

基本的には必要ありません。ただし、より良いアクセラレーション効果を得るには、先に動的ファイル/静的ファイルの分離を行うことをお勧めします。動的ファイルと静的ファイルをそれぞれ異なるドメイン名に割り当て、静的リソースのみに対してアクセラレーションを実装します。

Tencent CDNはクロスドメインのアクセスをサポートしていますか？

Tencent Cloud CDNは、クロスドメインアクセスを実行する際に、クロスドメインの制限を課しません。ユーザーのWebサイトがクロスドメインアクセスを必要とする場合は、自身のWebサイトに対してAccess-Control-Allow-Originフィールドを設定するか、CDNでドメイン名にクロスドメインヘッダーを設定することで、クロスドメインアクセスを実現できます。詳細については、[カスタムレスポンスヘッダーの設定]（https://www.tencentcloud.com/document/product/228/35320）をご参照ください。

障害のセルフ診断ツールはどのように使用しますか？

CDNは、セルフ診断ツールを提供しています。URLへの異常なアクセスが検出された場合、このツールはセルフサービス検出を通じて、DNS解決構成、アクセラレーションノード、およびオリジンサーバーのネットワークを特定して診断するほか、トラブルシューティングガイドを提供することができます。

CDNはPOSTリクエストをサポートしていますか？

CDNはPOSTリクエストをサポートしています。

CDNはオリジンサーバーのCache-Control設定をサポートしていますか？

Tencent Cloud CDNはデフォルトではオリジンサーバーのCache-Control設定をサポートしています。

CDNはGZIP圧縮をサポートしていますか？

ユーザーのトラフィックを節約するために、CDNはデフォルトではサイズが256Byte～2048KBの範囲であり、拡張子が.js、.html、.css、.xml、.json、.shtml、.htmのファイルをGzip形式に圧縮します。

CDNアクセラレーションのアクセスポートはカスタムポートをサポートしていますか？

CDNアクセラレーションは現在、アクセスポートとして80、443、8080の3つのポートを開放することをサポートしており、デフォルトではすべて開放されています。ユーザーは自らポートを閉じることができます。

CDN中間オリジンサーバーとは何ですか？

CDN中間オリジンサーバーは、サービスサーバーとCDNノードの間にある中間層のBack-to-Originサーバーです。中間オリジンサーバーでノードのBack-to-Originリクエストを集約することで、お客様のオリジンサーバーのBack-to-Origin負荷が低減されます。

クライアントの実際のIPとクライアントの実際のリクエストプロトコルを取得する方法

リクエストがアクセラレーションのエッジノードを通過した後、Tencent Cloud CDNはデフォルトでX-Forwarded-For（実際のクライアントIP）およびX-Forwarded-Proto（実際のクライアントリクエストプロトコル）のヘッダーを含めた状態でBack-to-Originすることをサポートしているため、再度設定する必要はありません。

CDNサブユーザーはどのように設定しますか？

サブユーザー自身がTencent Cloudに登録してCDNサービスをアクティブ化する必要はありません。サブユーザーは作成者によってサブユーザーリストに追加され、これには2種類があります：

1. メッセージ受信型。
2. コンソール使用型。次のリンクからサブユーザーを作成および設定できます：サブユーザーの作成。

CDNのIPブラックリスト/ホワイトリストはどのように設定しますか？

CDNはIPブラックリスト/ホワイトリストの設定機能を提供します。悪意あるIPによる悪用や攻撃などの問題を解消するために、ビジネスニーズに応じてリクエストのソースIPに対してフィルタリングポリシーを設定することができます。詳細については、[IPブラックリスト/ホワイトリストの設定]（https://www.tencentcloud.com/document/product/228/6298）をご参照ください。

その他設定の問題：[IPアクセス回数の制限の設定]（https://www.tencentcloud.com/document/product/228/6420）、[リンク不正アクセス防止の設定]（https://www.tencentcloud.com/document/product/228/6292）。

CDNのアップロードファイルにサイズ制限はありますか？

CDNのアップロードファイルはデフォルトで32M以内に制限されています。

CDNは、動的なBack-to-Origin設定、Back-to-Originキューをサポートしていますか？

マスターオリジンサーバーの応答が異常である場合は、構成済みのバックアップオリジンサーバーにリクエスト順にジャンプして、再リクエストすることができます。

CDNのURLブロックは、永久にブロックされますか？

いいえ、ブロックは無期限の永久ブロックではありません。

CDNはWebSocketをサポートしていますか？

サーバー全体のアクセラレーションドメイン名は、すでにWebSocketをサポートしています。これは、ドメイン名管理の高度な設定で有効にすることができます。

CDNは非HTTPプロトコルのアクセラレーションをサポートしていますか？

現在、CDNはメールやFTPなどの非HTTPプロトコルのアクセラレーションをサポートしています。

課金に関する問題

最終更新日：：2020-07-07 20:12:56

CDNサービスはどのように課金されますか。

CDNサービスには、**帯域幅課金**と**トラフィック課金**の2つの課金方式があります。いずれも日単位で後払い決済されます。当日の00:00:00～23:59:59で発生した合計消費量は翌日に課金されます。課金方式の選択方法については、課金説明をご参照ください。

CDNサービスはいつから課金されますか。

CDNは、後払い決済サービス（使用後に料金を支払う）を提供します。翌日の課金方法は、当日発生した消費に対応する課金方法に準じます。

- 当日の課金方法が帯域幅課金ですが、消費が発生していないうちにトラフィック課金に切り替えた場合、翌日の決済時に、途中で課金方法が変更されていない場合、利用料金はトラフィック課金方式に従って課金されます。
- 当日の課金方法は帯域幅課金ですが、トラフィック課金に切り替えた際に消費はすでに発生した場合、翌日の決済時に、利用料金は帯域幅課金方法に従って課金されます。途中で課金方法が変更されていない場合、3日目に2日目の消費が課金される時、使用料金はトラフィック課金方式に従って課金されます。

Tencent Cloudと契約しているのお客さまの場合、95716に電話していただくか、チケットを送信して課金方法を変更することができます。

月95 パーセンタイル帯域幅課金とは。

帯域幅課金の場合、帯域幅のピーク値を課金値として使用します。
月95 パーセンタイル帯域幅：CDN日間通信量統計ポイントは288か所です。当月の1日から、有効日ごとの（通信量が0byteを上回る日を有効日とします）すべての統計ポイントをソートし、上位5%の統計ポイントを除外したうえで、残った統計ポイントのうち最大のものを料金適用対象の通信量とします。この通信量を使用し、契約価格に基づいて料金を算出します。

> 計算例：
> 1月1日より料金計算を開始、契約価格がP USD/Mbps/月の場合。
> 1月において通信量が0を上回った日数が14日の場合で、料金が適用される通信量はこの14日間のすべての統計ポイント14 * 288か所となります。上位5%を除外すると、残った統計ポイントのうちでもっとも高いのはMax95となりました。Max95が料金適用対象の通信量です。1月の料金はMax95 * P * 14 / 31となります。

CDN請求書をどのように照会しますか。

Tencent Cloud費用センター にアクセスして請求書をクエリーできます。詳細については、請求書クエリーをご参照ください。

中国本土でCDNトラフィックパッケージを購入したのですが、利用停止したい場合、返品できますか。

できます。中国本土で購入されたCDNトラフィックパッケージが使用されていない場合、購入から5日以内であれば払い戻しできます。 詳細については、返金方法をご覧ください。

CDNサービスの料金計算ツールはどこにありますか。

CDN料金計算ツール をクリックして、中国本土の料金計算ページに入ります。

CDNサービスはリクエスト数に応じた課金に対応しますか。

現在CDNはリクエスト数に応じた課金に対応しません。

アカウントに残高不足がある場合、どのような影響が出ますか。

課金説明ドキュメントの支払い延滞に関する説明をご参照ください 。

オリジンサーバーがCOSを使用している場合、CDNからCOSへのback-to-originによって生成されたトラフィックに対して課金されますか。

CDNからCOSへのback-to-originによって生成されたトラフィックは、CDNによって課金されませんが、COSによって課金されます。詳細について、COSをCDNオリジンサーバーとするをご参照ください。

CDNサービスを無効にした後（CDNサービスがオフラインになった後）、トラフィックと費用は発生しますか。

CDNドメイン名のアクセラレーションサービスを無効にした後、ドメイン名にまだCNAMEが設定されている場合、ノードに解決されたリクエストに対して404ステータスコードが返され、少量のトラフィック消費が発生します。コンソールは、お客様の参照用にこの部分のトラフィックデータを記録し、また、対応するログ記録も生成されます。ただし、ドメイン名が無効になっているため、このトラフィック消費量とログパッケージは課金されません。アクセラレーションサービスを無効にする前に、解析back-to-originを変更することをお勧めします。

ドメイン名アクセスの問題

最終更新日：：2023-03-10 15:03:56

ドメイン名を追加する方法とは？

CDNのコンソールでドメイン名を追加できます。詳細については、ドメイン名の追加をご参照ください。

ドメイン名をCDNに追加するための要件は何ですか？

1. アクセラレーションドメイン名の長さは81文字以下としてください。
2. アクセラレーションリージョンが中国本土、グローバルアクセラレーションの場合、ドメイン名はすでに工業情報化部でICP申告を行っている必要があります。アクセラレーションリージョンが中国本土以外であれば、ドメイン名のICP申告を行う必要はありません。
3. ドメイン名のICP申告同期には遅延が発生します。1〜2時間かかる見込みです。ICP申告完了後、1〜2時間待ってから、ドメイン名の追加を再試行してください。
4. アンダーバー付きのドメイン名、またはpunycodeに変換された中国語ドメイン名の追加をサポートします。中国語のドメイン名は、あらかじめ中国語の形式でICP申告を行う必要があります。
5. `*.example.com` 、 `*.a.example.com` などのワイルドカード形式のドメイン名の追加がサポートされます。ワイルドカード形式のドメイン名を追加した後、そのサブドメイン名または第2レベルのワイルドカード形式のドメイン名をその他のアカウントに追加することはできません。例：追加されたワイルドカード形式のドメイン名が `*.example.com` である場合、ユーザーがアクセスするドメイン名 `a.example.com` はこのワイルドカード形式のドメイン名とマッチングするため、ワイルドカード形式のドメイン名構成に従ってアクセラレーションが適用されます。ユーザーがアクセスするドメイン名 `example.com` がワイルドカード形式のドメイン名とマッチングしないため、アクセラレーション効果はありません。
6. 同じアカウントでは、複数のネストされたドメイン名を追加できます。たとえば、 `*.example.com` 、 `*.path.example.com` 、 `a.path.example.com` は、同じアカウントで同時に追加できます。ドメイン名の設定、アクセストラフィックの統計は優先度別に統計できます。一致性が高いほど、優先度が高くなります。たとえば、 `a.path.example.com` へのアクセスは、 `a.path.example.com` のドメイン名構成が適用されます。 `b.path.example.com` へのアクセスは、 `*.path.example.com` のドメイン名構成が適用されます。 `c.example.com` へのアクセスは、 `*.example.com` の構成が適用されます。アクセストラフィックの統計は同様です。
7. 追加する必要のあるワイルドカード形式のドメイン名に含まれるサブドメイン名が、すでにその他のアカウントに追加されている場合、現在のアカウントに追加する前に、対応するアカウントで対応するサブドメイン名を削除する必要があります。例：Aアカウントにドメイン名 `a.example.com` が追加されており、Bアカウントに `*.example.com` を追加する必要がある場合は、 `*.example.com` にサブドメイン名 `a.example.com` が含まれているため、Bアカウントに `*.example.com` を追加する前に、Aアカウントで `a.example.com` を削除する必要があります。

CDNはワイルドカード形式のドメイン名の追加をサポートしますか？

CDNは現在、ワイルドカード形式のドメイン名の追加をサポートしていますが、ドメイン名所有権の確認を行う必要があります。確認に成功した後、ドメイン名を追加またはドメイン名を取得することができます。
その他：

1. ワイルドカード形式のドメイン名（例：`*.test.com`）がTencent Cloudにすでに追加されている場合、そのワイルドカード形式のドメイン名に含まれるサブドメイン名はいずれも、他のアカウントに追加できません。
2. ワイルドカード形式のドメイン名`*.test.com`がすでに追加されている場合、現在のアカウントにおいてのみ、`*.path.test.com`などのワイルドカード形式のドメイン名を追加できます。
3. アカウントの下に同時に複数のネストされたドメイン名がある場合（`*.test.com`、`*.path.test.com`、`a.path.test.com`）、ドメイン名の構成と統計は、一致性の高いものから低いもの順に適用されます。たとえば、`a.path.test.com`リクエストは`a.path.test.com`ドメイン名のリクエストとして扱われ、`b.path.test.com`リクエストは`*.path.test.com`ドメイン名のリクエストとして扱われます。

VODドメイン名を追加できない旨のメッセージが出力された場合、どうすればよいですか？

ご利用中のドメイン名がすでにVODのカスタムデリバリーアクセラレーションドメイン名に追加されています。同じアクセラレーションドメイン名を繰り返して設定できないため、CDNコンソールでもこのアクセラレーションドメイン名を使用する必要がある場合は、先にVODからアクセラレーションドメイン名を削除してください（非アクティブ化のみを行っても競合が発生するため、ドメイン名を非アクティブ化してから削除してください）。削除して約1分間待ってから、CDNコンソールに追加します。または、異なるサブドメイン名でCDNコンソールに追加することもできます。

CDNの構成にはどれくらい時間がかかりますか？

通常、CDNの構成は5分以内に有効になります。一部の構成は、実行するタスク数が多いため、有効になるまで5～15分かかります。構成が完了するまでしばらくお待ちください。

###オリジンサーバーIPは複数設定できますか？
複数のオリジンサーバーIPを設定できます。複数のIPを設定している場合、CDNはBack-to-Originリクエストを受信したときに、入力したIPの任意1つにランダムにアクセスします。あるIPのBack-to-Origin失敗回数がしきい値を超えた場合、デフォルトで当該IPは300秒間隔離され、オリジンサーバーにBack-to-Originしなくなります。

###ドメイン名がCDNに追加された後、CNAMEをバインディングするにはどうすればよいですか？
CNAMEの設定ドキュメントに記載されている操作説明を参照し、DNSプロバイダーでCNAMEをバインディングしてください。

CDNがサポートしているサービスタイプはどのようなものがあるでしょうか？

サービスタイプの選択によって、ドメイン名のスケジューリングのためのリソースプラットフォームが決まります。リソースプラットフォームによってアクセラレーション構成に違いがあります。お客様のビジネスにマッチしたサービスタイプを選択してください。

- 小容量Webページファイル：eコマース、ウェブサイト、UGCコミュニティなど、小容量の静的リソース（たとえば、ホームページのスタイル、画像および小容量ファイル）を主とするサービスシーンに適しています。
- 大容量ファイルのダウンロード：ゲームのインストールパッケージ、アプリケーションの更新、アプリケーションパッケージのダウンロードなど、比較的ファイル容量が大きいサービスシーンに適しています。
- オーディオ/ビデオ・オン・デマンド：オーディオとビデオのオンライン・オンデマンドなど、オーディオ/ビデオファイルのオンデマンドアクセラレーションサービスシーンに適しています。
- 動的・静的アクセラレーション：各種Webサイトのトップページなど、動的・静的データが組み合わさったサービスシーンに適しています。
- 動的アクセラレーション：アカウントのログイン、注文取引、APIの呼び出し、リアルタイム照会などのシーンに適しています。

CDNアクセラレーション後、リソースが古い、コンテンツが更新されていない、またはコンテンツが間違っているなどの例外が発生します。

CDNノードは、ノードのキャッシュの有効期限設定に従ってリソースをキャッシュします。CDNノードのキャッシュが有効期限内であれば、オリジンサーバーに戻ってリソースを更新することはありません。
オリジンサーバーのリソースを更新した直後に、CDNノードのキャッシュを直ちに更新する必要がある場合、キャッシュを更新機能を使用し、CDNノードで未期限切れのキャッシュを自主的に更新することで、CDNノードのキャッシュをオリジンサーバーのリソースと一致させることができます。

CDNドメイン名の所属プロジェクトを変更するにはどうすればよいですか？

CDNコンソールにログインし、左側メニューバーの【ドメイン名管理】を選択して、ドメイン名または操作バーの【管理】をクリックします。Tabの【基本設定】ページで、所属プロジェクトを変更できます。複数のドメイン名の所属プロジェクトを変更する場合は、【ドメイン名管理】ページで複数のドメイン名を選択し、上の【その他の操作】で【プロジェクトの編集】を選択することで、複数のドメイン名の所属プロジェクトを同時に変更できます（1回につき最大50件のドメイン名を選択可能）。

> 注意：
> CDNの権限システムを使用しているユーザーの場合は、この操作によりサブユーザーの権限が変更される可能性がありますので、注意して操作してください。

ドメイン名を工業情報化部にてICP申告を行っているにもかかわらず、CDNアクセラレーションドメイン名に追加するとドメイン名がICP未申告と表示されます。なぜですか？

ICP申告完了後、通常、工業情報化部の情報が同期され、Tencent Cloud CDNでICP申告情報が更新されるまでには、ある程度の時間を要します。24時間待ってから再試行してください

アクセラレーションドメイン名/オリジンサーバーではポート設定をサポートしていますか？

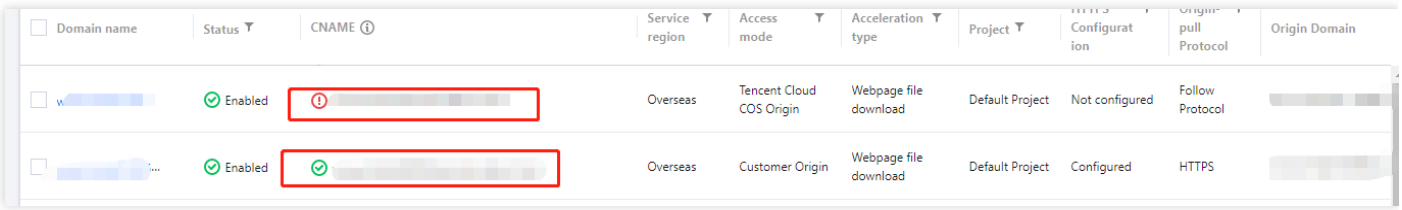
- アクセラレーションドメイン名ポート：現在CDNアクセラレーションのポートは、デフォルトで80、443、8080の3つをサポートしています。その他のポートは現在サポートしていません。
- オリジンサーバーポート：オリジンサーバーアドレスの後のポート設定に対応しています。ポート（1 - 65535）を設定可能です。

CDN Back-to-Origin HOST設定とは何ですか？

Back-to-Origin HOSTは、CDNノードがBack-to-Originの処理中に統合された後、オリジンサーバーでアクセスするサイトのドメイン名を指します。オリジンサーバーで設定したIP/ドメイン名は、Back-to-Originの際にCDNノードを対応するオリジンサーバーにポイントするように指示することができます。オリジンサーバーに複数のWebサイトをデプロイしている場合、Back-to-Origin HOSTの設定により、特定のサイトドメインにアクセスするように指定することができます。オリジンサーバーにサイトが1つしかない場合、デフォルトではBack-to-Origin HOSTを変更する必要がなく、サイトをアクセラレーションドメインとして設定するだけです。
オリジンサーバーがCOSソースまたはサードパーティーのオブジェクトストレージである場合、Back-to-Origin HOSTは変更できず、デフォルトでBack-to-Originアドレスとなります。

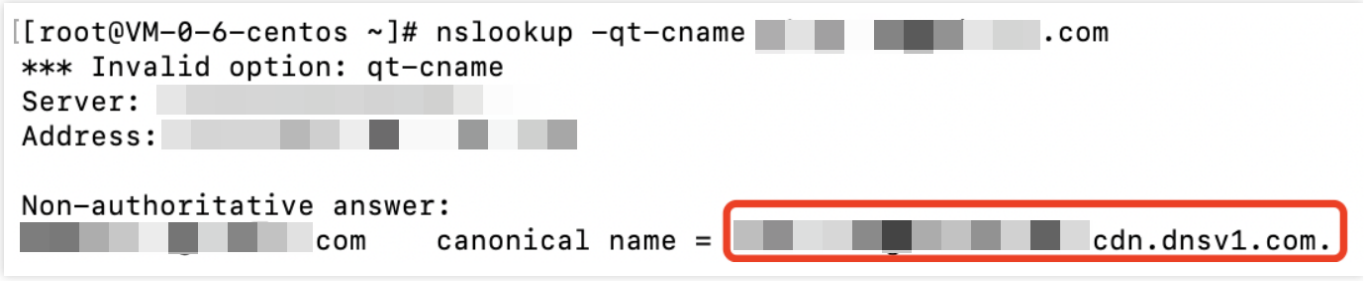
CDNが有効になっているかどうかをどのように判断しますか？

1. コンソールのドメイン名管理リストで確認できます。ドメイン名のCNAME解決が正しく行われていれば、現在CDNドメイン名のアクセラレーションが有効になっていることを意味します。CNAME解決が2つ存在する場合は、そのうちの1つだけが有効になっていれば十分です。

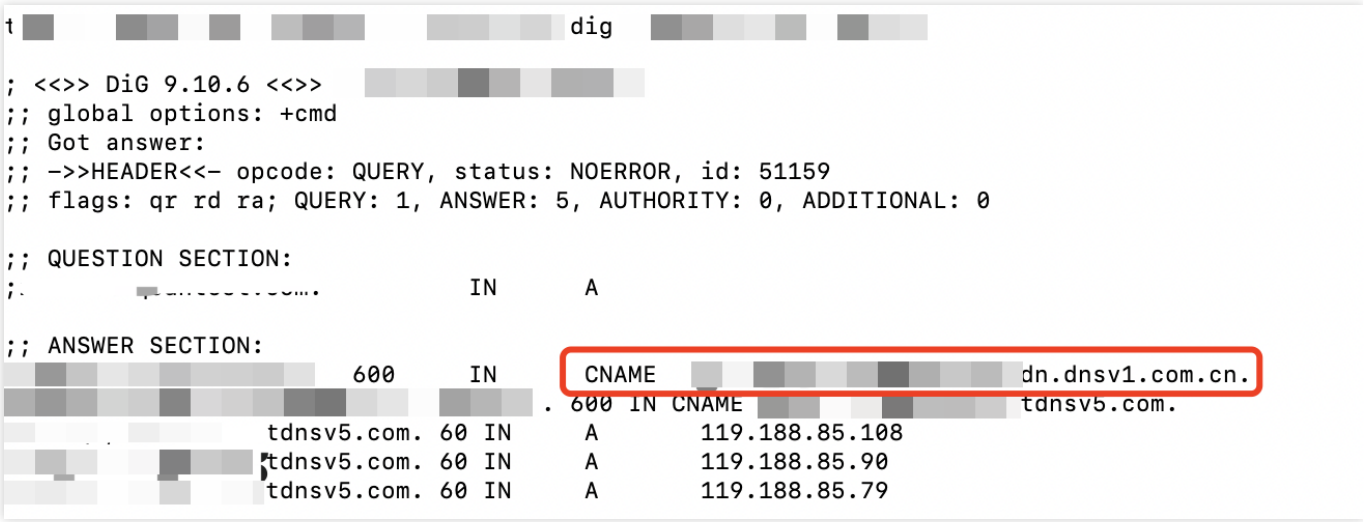


2. nslookupまたはdigコマンドを使用して、現在ドメイン名の解決ステータスを確認することもできます。
   - Windows OSをご利用の場合、cmdを開いてプログラムを実行します。たとえばドメイン名が `www.test.com` の場合、cmdで `nslookup -qt=cname www.test.com` を実行します。実行結果では、当該ドメイン名のCNAME情報が表示されます。Tencent Cloud CDNによって提供されたCNAMEアドレ

スと一致する場合、現在CDNアクセラレーションが有効になっていることを意味します。



- macOSまたはlinuxをご利用の場合、digコマンドを使用して確認できます。たとえばドメイン名が `www.test.com` の場合、端末で `dig www.test.com` コマンドを実行します。実行結果では、当該ドメイン名のCNAME情報が表示されます。Tencent Cloud CDNによって提供されたCNAMEアドレスと一致する場合、現在CDNアクセラレーションが有効になっていることを意味します。



CDNファイルをダウンロードできません

ファイルをダウンロードできない場合は、次のいくつかの方法で解決することを推奨します：

1. オリジンサーバーが正常にダウンロードできるかを確認します。
2. CDNドメイン名が正しく設定されているかを確認します。CDNコンソール > 基本設定 > Back-to-Origin Hostの順に確認し、設定したBack-to-Origin Hostドメイン名がアクセスできる状態になっていることを確認してください。そうなっていない場合、Back-to-Originが失敗し、お客様のサービスに影響します。
3. オリジンサーバーのセキュリティポリシーを確認します。オリジンサーバーで構成されているセキュリティポリシーが、Back-to-Originの失敗を引き起こした原因であるかを確認します。そうである場合、CDN Back-to-Origin IPネットワークセグメントを取得した後、オリジンサーバーでホワイトリストに追加します。

wordpressでCDNのアクセラレーションを設定した後、バックグラウンドでログインできません。

WordPressはログイン（バックグラウンドでディレクトリ/wp-adminにログイン）、インターフェースなどの動的リクエストを伴います。キャッシュ設定が適切に行われていない場合、ログイン異常が発生します。対応する動的ファイルタイプのキャッシュ時間を「キャッシュなし」に設定することをお勧めします。

オリジンサーバーの構成中に、Back-to-Originプロトコルが正しくないか、ポート番号が正しくないというメッセージが表示されます。

Tencent Cloud CDNのオリジンサーバーの構成では、ポート番号のカスタムをサポートします。Back-to-OriginプロトコルとしてHTTPが選択されている場合、デフォルトのBack-to-Originポートはポート80です。Back-to-OriginプロトコルとしてHTTPSが選択されている場合、デフォルトのBack-to-Originポートはポート443です。カスタムポートを設定している場合、Back-to-Originポートとしてカスタムポートが使用されます。そのため、Back-to-Originが確実に行われるようにするには、オリジンサーバーの構成中に正しいBack-to-Originプロトコルとポート番号を使用する必要があります。よくある構成エラーは次のとおりです：

1. Back-to-OriginプロトコルとしてHTTPが選択されていますが、オリジンサーバーではHTTPSしかサポートしていないため、Back-to-Originに失敗します。
2. Back-to-OriginプロトコルとしてHTTPが選択され、カスタムポートが443になっています。しかし、実際にはオリジンサーバーのBack-to-OriginプロトコルがHTTPSであり、Back-to-OriginプロトコルをHTTPSに変更する必要があります。
3. Back-to-OriginプロトコルとしてHTTP が選択され、カスタムポート番号が8080に変更されています。しかし、実際にオリジンサーバーではポート8080が遮断されています。ポートが通信できない状態のため、Back-to-Originに失敗します。

Back-to-Originプロトコルが正しく選択されているにもかかわらず、ポート80または443が通信できないというメッセージが表示された場合、ソースが正しいポート番号で返されるようにBack-to-Originポートをカスタマイズしてください。オリジンサーバーの情報を入力すると、プラットフォームではオリジンサーバーのポートが通信可能かどうかを自動的に検知します。お客様はプロンプトに従って、現在のBack-to-Originプロトコルまたはポート番号が正しいかどうかを確認することができます。これにより、正常な通信を確保し、Back-to-Origin失敗を回避することができます。

CDNはtopドメイン名をサポートしていませんか？

現在CDNは、.pwおよび.topドメイン名の追加をすでにサポートしています。

Tencent Cloud CDNは中国語のドメイン名をサポートしていますか？

現在CDNは、アンダーバー付きのドメイン名、およびpunycodeに変換された中国語ドメイン名の追加をすべてサポートています。

- 中国語ドメイン名は、まず中国語の形式でICP申告を行う必要があります。
- 「中文.域名」などの中国語ドメイン名はホワイトリストに追加された後、サードパーティ製ツールを使用して、「xn--fiq228c.xn--eqrt2g」に変換して追加できます。

- 「test_qq.tencent.cloud」などのアンダーバー付きドメイン名は、直接追加できます。

CDN管理で追加されたドメイン名をオフにすると、CDNノード上のファイルはどうなりますか？

現在CDNに追加されているドメイン名のアクセラレーションサービスをオフにすると、CDNノードはドメイン名に対応するアクセス構成を保持しますが、CDNトラフィックは発生しなくなります。同時に当該ドメイン名にもアクセスできなくなります。

新しく追加されたドメイン名について、「サブアカウントでcamポリシーが構成されていません」というエラーが表示されます

サブアカウントでドメイン名の追加やデータの照会などの操作を実行する際に、ルートアカウントがサブアカウントに対して承認を行っていない場合、「サブアカウントでcamポリシーが構成されていません」というメッセージが表示されます。ルートアカウントは、Cloud Access Management-ポリシーでCDN関連のサービスポリシーを作成し、サブアカウントを承認できます。承認後、Cloud Access Management-ユーザー-ユーザーリストでサブアカウントの権限を表示できます。

アクセラレーションドメイン名をオフにする/削除する方法とは何ですか？ドメイン名をオフにした/削除した後、その構成は保持されますか？

アクセラレーションをオフにする必要がある場合は、CDNコンソールでアクセラレーションサービスをオフにすることができます。アクセラレーションドメイン名をオフにした後、削除することができます。詳細については、ドメイン名の操作をご参照ください。アクセラレーションドメイン名をオフにした後に削除できない場合、ドメイン名が現在オフ処理を実行しているか、お客様は現在協力者アカウントを利用している可能性があります。協力者アカウントの操作権限は、CDNサービスの作成者のルートアカウントによって作成され設定されます。操作を実行するには、当該ドメイン名に対する削除権限が付与されている必要があります。
ドメイン名をオフにすると、現在の構成リソースは保持されますが、アクセラレーションサービスは提供されなくなります。ユーザーのリクエストに対しては404のエラーコードが返されます。ドメイン名を削除すると、その構成は直ちに削除され、復元できなくなります。

example.com、www.example.com、m.example.comに対して同時にCDNアクセラレーション効果を適用するにはどうすればいいですか?

1. `example.com` 、 `www.example.com` 、 `m.example.com` が異なるドメイン名に属しているため、CDNアクセラレーション効果を適用するには、それぞれをCDNに追加する必要があります。ドメイン名の構成が同じ場合は、ドメイン名を一括追加するか、ドメイン名の構成をコピーして追加することができます。
2. ドメイン名が同じリソースにアクセスする場合（たとえば、 `example.com` と `www.example.com` が同じリソースにアクセスする場合）、ドメイン名解決サービスプロバイダ経由で、内部転送、または外部転送による301リダイレクトを設定することで、すでにCDNアクセラレーションが適用されているドメイン名にポイントできます。詳細については、内部転送、外部転送の履歴設定をご参照ください。

CDNはwebsocket接続をサポートしますか？

ECDN動的・静的アクセラレーションまたはECDN動的アクセラレーションを使用することをお勧めします。高度な構成でwebsocket接続のタイムアウト構成を有効にすることができます。許容される最大値は300秒です。アクセラレーションの種類がCDN小容量Webページファイル、CDN大容量ファイルのダウンロード、CDNオーディオ/ビデオ・オン・デマンドの場合、websocket接続を使用すると、接続が切断したり、失敗したりする可能性があります。

キャッシュ設定の質問

最終更新日：：2022-06-17 16:50:36

ノードキャッシュ期限切れ設定とは何ですか。

ノードキャッシュ期限切れ設定とは、CDNアクセラレーションノードがユーザーのサービスコンテンツをキャッシュするように設定する時に準拠する期限切れルールのセットです。
CDNノードにキャッシュされたユーザーリソースは、いずれも「期限切れ」の問題に直面しています。リソースが期限切れではない状態にある場合、ユーザーリクエストがノードに到達すると、ノードは対象リソースをユーザーに直接返し、取得速度を向上させます。リソースが期限切れの状態になっている場合（即ち、設定された有効時間を超えた場合）、ユーザーリクエストはノードからオリジンサーバーに送信されます。オリジンサーバーのコンテンツがすでに更新されていた場合は、コンテンツを再取得してノードにキャッシュすると同時に、ユーザーに返します。オリジンサーバーのコンテンツがまだ更新されていない場合は、ノードにあるリソースのキャッシュ時間のみを更新します。キャッシュ時間を適切に設定することで、ヒット率を効果的に向上させ、back-to-origin率を低下させ、ユーザーの帯域幅を節約することができます。

ブラウザでのファイルキャッシュ時間はどう制御しますか。

コンソールはブラウザのキャッシュ期限を設定しています。詳細はブラウザキャッシュ期限設定をご参照ください。

CDNはどのように一部のファイルのキャッシュを設定していますか。一部のファイルがキャッシュされなかった場合は、直接back-to-originされますか。

ディレクトリ、ファイルパス、ファイルタイプに従って、対応するキャッシュ時間を設定してください。詳細については、ノードキャッシュ設定をご参照ください。
キャッシュオプションがキャッシュしないとなっている場合は、CDNノードが当該リソースをキャッシュしないということであり、ユーザーがCDNノードにアクセスリクエストを送信するたびに、CDNノードは直接オリジンサーバーに戻って対応するファイルを取り出します。

CDNはどのようなキャッシュ期限切れ設定をサポートしていますか。

CDNは、各ファイルタイプのキャッシュ期限や、パラメータ、大文字と小文字の区別、オリジンサーバーの準拠などを無視するかどうかや、ヒューリスティックキャッシュルールなどの設定をサポートしています。キャッシュルールを適切に設定することで、ヒット率を効果的に向上させ、back-to-origin率を低下させることで、ユーザーの帯域幅を節約することができます。詳細については、キャッシュ設定とノードキャッシュ設定 をご参照ください。

CDNのデフォルトのキャッシュ設定は何ですか。

アクセラレーションドメイン名にアクセスする場合、異なるサービスタイプに応じて、CDNはデフォルトのノードキャッシュ期限切れルールを追加できます。これは必要に応じて調整できます。

- CDN - ウェブページ小容量ファイル/大容量ファイルダウンロード/オーディオビデオオンデマンド & ECDN - 動的・静的アクセラレーション：通常の動的ファイル（例 php;jsp;asp;aspx）はキャッシュされず、その他のファイルはデフォルトでは30日間キャッシュされます。
- ECDN - 動的アクセラレーション：すべてのファイルはキャッシュされません。

いずれのルールも設定しない場合や、設定されたルールにリクエストがヒットしない場合は、デフォルトで次のようなプラットフォームポリシーに準じます。

- ユーザーがあるサービスリソースをリクエストし、オリジンサーバーに対応するHTTP Response HeaderにCache-Controlフィールドが存在している場合は、このCache-Controlに準じます。
- オリジンサーバーに対応するHTTP Response HeaderにCache-Controlフィールドが存在しない場合、CDNノードはデフォルトでこのリソースを600秒間キャッシュします。

キャッシュのマッチング方法は何ですか。

複数のキャッシュポリシーが設定されている場合、互いに重複することがあるため、設定項目リストの下部の項目が上部の項目に優先するように設定します。あるドメイン名は次のキャッシュ設定で設定されていると仮定します。

```
すべてのファイルは30日間
.php .jsp .aspx 0秒
.jpg .png .gif 300秒
/test/*.jpg 400秒
/test/abc.jpg 200秒
```

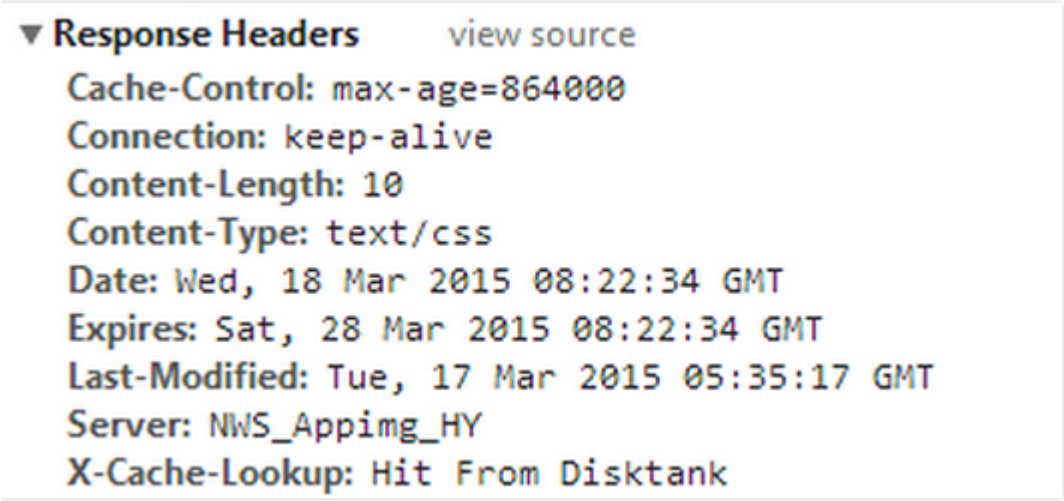
ドメイン名が `www.test.com` で、リソースが `www.test.com/test/abc.jpg` であるとすると、そのマッチング方法は次のとおりです。

1. 1番目のすべてのファイルにマッチングし、ヒットした場合のキャッシュ時間は30日です。
2. 2番目にマッチングし、ヒットしませんでした。
3. 3番目にマッチングし、ヒットした場合のキャッシュ時間は300秒です。
4. 4番目にマッチングし、ヒットした場合のキャッシュ時間は400秒です。
5. 5番目にマッチングし、ヒットした場合のキャッシュ時間は200秒です。

そのため、最終のキャッシュ時間は200秒となり、最後のマッチングで有効となります。

ユーザーのアクセスがCDN cacheにヒットしたかどうかをどのように判断しますか。

こんにちは、HTTPレスポンスヘッダーのX-Cache-Lookup情報を確認することができます。



X-Cache-Lookup: Hit From MemCache

X-Cache-Lookup: Hit From Disktank

X-Cache-Lookup: Cache Hit

以上のいずれかが戻ってくれば、キャッシュがヒットしたことを意味し、戻ってこなければキャッシュはヒットしていないことを意味します。

オリジンサーバーがファイルを変更すると、CDNアクセラレーションノード上のキャッシュはリアルタイムで更新されますか。

CDNアクセラレーションノード上のキャッシュコンテンツは、リアルタイムでは更新されません。

- CDNノードは、コンソールに設定したキャッシュの有効期限の設定のルールに従ってキャッシュを更新してください。オリジンサーバーがファイルを変更しても、CDNキャッシュの有効期限がまだ切れていない場合、自動的にオリジンサーバーに戻ってファイルを更新することはありません。この場合、オリジンサーバーのファイルとCDNキャッシュのファイルは一致しません。
- 特定ファイルのコンテンツを自動で更新したい場合は、キャッシュ更新から自動でCDNキャッシュのクリーンアップをすることができます。次に、当該ファイルのリクエストからback-to-originし、最新のファイルを取得して、再キャッシュします。キャッシュプリフェッチからCDNを自動でback-to-originしてリクエストし、最新のファイルを取得することもできます。
- 特定のファイルのキャッシュを定期的に更新したい場合は、**定期的な更新とプリフェッチ**から定期的に更新タスクをトリガーすることができます。

更新とプリフェッチの質問

最終更新日：：2022-06-17 16:50:36

更新・プリフェッチ機能を使用する必要があるのはどのような場合ですか。

- 更新：お客様のオリジンサーバーにリソースの更新や、不正なリソースを削除する必要性、ドメイン名の設定変更があった場合は、ネットワーク全体のユーザーがノードのキャッシュの影響を受けて古いリソースにアクセスしてしまったり、古い設定の影響を受けたりすることを避けるために、タスクの更新を提出することで、ネットワーク全体のユーザーが最新のリソースにアクセスまたは正常にアクセスすることが可能となります。詳細な説明についてはキャッシュ更新をご参照ください。
- プリフェッチ：運用するイベントまたはインストールパッケージ/アップグレードパッケージのリリースなどがある場合は、プリフェッチタスクを提出し、事前に静的リソースをCDNアクセラレーションノードにプリフェッチすることで、オリジンサーバーの負荷を低減し、ユーザーサービスの可用性およびユーザーエクスペリエンスを向上させることができます。詳細な説明については、キャッシュプリフェッチをご参照ください。

更新とプリフェッチはどう違うのですか。

- 更新後、ネットワーク全体のCDNノードからこのリソースのキャッシュを削除します。ユーザーリクエストがノードに到達すると、ノードはオリジンサーバーに戻って対応するリソースをプルしてユーザーに返し、ノードにキャッシュすることによって、ユーザーが最新のリソースを確実に取得できるようにします。
- プリフェッチした後、このリソースはネットワーク全体のCDNノードにあらかじめキャッシュされます。ユーザーリクエストがノードに到達すると、ノードでリソースを直接取得することができます。

更新・プリフェッチには何が必要ですか。有効になるまでにどのくらい時間がかかりますか。

- キャッシュ更新
- URLの更新：1日あたりのURL更新数は最大で10,000個までです。更新ごとに送信されるURL数は1,000個以下で、更新タスクが有効になるまでに約5分かかります。ファイル設定のキャッシュ有効時間が5分未満の場合は、更新ツールを使用せずに、タイムアウトによる更新を待つことをお勧めします。
- ディレクトリ の更新：1日あたりのディレクトリ更新数は最大で100個までです。更新ごとに送信されるURLディレクトリ数は500個以下で、更新タスクが有効になるまでに約5分かかります。フォルダ設定のキャッシュ有効時間が5分未満の場合は、更新ツールを使用せずに、タイムアウトによる更新を待つことをお勧めします。
- リソースのプリフェッチ
- URLのプリフェッチ：1日あたりのURLプリフェッチ数は最大1000個までです。プリフェッチごとに送信されるURL数は500個以下で、プリフェッチタスクが有効になるまでの時間はプリフェッチファイルのサイズに依存し、約5分から30分かかります。

オリジンサーバーリソースを変更後、CDNアクセラレーションノード上のキャッシュは、自動的にリアルタイムで更新されますか。

CDNアクセラレーションノード上のキャッシュコンテンツは、自動でのリアルタイム更新はされません。

- オリジンサーバーリソースを変更後、CDNキャッシュが有効期限前でも、CDNが自動的にオリジンサーバーに戻り最新のリソースを取得しない場合は、この時点ではオリジンサーバーリソースとCDNキャッシュが一致していないため、コンソールで設定したキャッシュの有効期限の設定から適切なキャッシュ有効期限を設定することができます。
- キャッシュ有効期限が短すぎると、CDNが頻繁にback-to-originすることになり、オリジンサーバーのトラフィック消費が増加します。キャッシュ有効期限が長すぎると、CDNキャッシュの更新が遅くなります。
- 特定リソースのキャッシュを自動で更新したい場合は、キャッシュ更新から自動でCDNキャッシュのクリーンアップをすることができます。キャッシュのクリーンアップ後、キャッシュプリフェッチからCDNを自動でback-to-originしてリクエストし、オリジンサーバーの最新のリソースを取得します。あるいはユーザーが新たにリクエストして、自然にトリガーすることで、CDNをback-to-originし、最新のリソースを取得します。

更新・プリフェッチの記録を確認するにはどうすれば良いですか。

CDNコンソールで更新・プリフェッチの記録を確認することができます。詳細については、操作の記録をご参照ください。

プリフェッチ時にカスタムリクエストヘッダーのプリフェッチを追加できますか。

現時点ではサポートしていません。

1日あたりの更新、プリフェッチのクォータ上限を上げるにはどうすれば良いですか。

CDNコンソールクォータ管理でCDNに関連するクォータ上限と使用状況を確認することができます。また、業務ニーズに応じて事前申請することにより、クォータ上限を一時的あるいは永続的にアップグレードすることができます。現在すでにサポートしているクォータは、URL更新クォータ、ディレクトリの更新クォータ、URLプリフェッチクォータです。

- 一時クォータ：業務における活動、運営シーンにおいて、一時的にクォータの増加が必要になった場合、クォータ管理から必要な時間範囲で一時クォータを申請することができます。一時クォータの有効期限が切れた後は、現在のクォータを永続クォータに戻すことができます。
- 永続クォータ：現在のクォータが日常の業務ニーズを満たしていない場合は、クォータ管理から対応する機能の永続クォータを申請することができます。しかし、永続クォータの承認は時間がかかるため、一時的な業務ニーズには一時クォータの申請をお勧めします。

プリフェッチをする場合はどのような事項に注意が必要ですか。

ドキュメントをプリフェッチする際、CDNキャッシュが有効期限切れでない場合は、CDNが自動でオリジンサーバーに戻ってドキュメントを更新することはありません。ドキュメントを更新する場合は、キャッシュを更新してから、キャッシュプリフェッチを送信することをお勧めします。

- プリフェッチをする時は、自動的にback-to-originで必要なコンテンツをプルします。このため大量のプリフェッチタスクを送信した後、オリジンサーバーの帯域幅が増加します。オリジンサーバーの帯域幅の状況に基づき、送信するプリフェッチの同時実行タスクを制御することをお勧めします。
- ネットワーク全体のアクセラレーションドメイン名は、デフォルトの状態で、エッジノードと中間層ノードの2層アクセラレーション構造となっています。リソースがエッジノードにプリフェッチされる場合、発生するエッジ層のトラフィックは課金トラフィックに計上されます。中国本土のリージョンのプリフェッチは、デフォルトで中国本土の中間層ノードにプリフェッチされ、中国本土以外のリージョンのプリフェッチは、デフォルトで中国本土以外のエッジノードにプリフェッチされます。

統計分析に関する問題

最終更新日：：2020-07-22 18:14:36

アクセス監視の帯域幅データはどのように統計されていますか。

各CDNノードはリアルタイムでトラフィックデータを収集し、コンピューティングセンターに報告してドメイン名の総トラフィックデータに集計します。時間の期間によって、総トラフィックを使用時間で割って帯域幅統計を表示します。
例えば：

- 1分間に発生したトラフィックの合計は6MBである場合、対応する帯域幅は（6 * 8）/60 = 0.8Mbpsとなります。
- 帯域幅課金には5分間粒度のデータで決済すると、対応する帯域幅の値=5分間粒度の総トラフィック÷300秒となります。

監視情報のトラフィックとログによって計算されたトラフィックに違いがあるのはなぜですか、違いは何ですか。

アクセラレーションドメイン名のログに記録されているダウンストリームバイトによって統計されたトラフィックデータは、アプリケーション層のデータです。実際のネットワーク転送において生成するネットワークトラフィックは純粋なアプリケーション層のトラフィックよりも約5〜15%多くなります。

- TCP/IPヘッダーによる消費：TCP/IPプロトコルに基づくHTTPリクエストでは、各パケットのサイズは最大1500バイトであり、TCPとIPプロトコルの40バイトのヘッダーが含まれます。ヘッダー部にトラフィックが生成しますが、アプリケーション層に統計されません。この部分のオーバーヘッドは約3%です。
- TCP再送信：ネットワークを介した通常のデータ転送中に、送信されるネットワークパケットの約3%〜10%はインターネット上で廃棄されます。サーバーは廃棄された部分を再送信しますが、アプリケーション層はこの部分にかかったトラフィックを統計できません。このタイプのトラフィックは、総トラフィックの約3%〜7%を占めます。

業界標準では、課金可能なトラフィックは、一般的にアプリケーション層でカウントされたトラフィックとオーバーヘッドの合計です。Tencent Cloud CDNは10%を占めるため、監視トラフィックがログによって計算されるトラフィックの110%程度となります。

トラフィックのヒット率はどのように計算しますか。

CDNは、デフォルトではユーザーにL2キャッシュ(エッジレイヤー、中間レイヤー)を有効にし、CDNのいずれかのレイヤーにヒットされ、リクエストに応答すると、CDNノードにヒットしていること見なされます。
トラフィックヒット率=（総ダウンストリームトラフィック-back-to-originトラフィック）/総ダウンストリームトラフィック。

トラフィックのヒット率が低い問題を解決するにはどうすればよいですか。

- キャッシュ更新が行われたかどうかを確認します。キャッシュ更新により、ノードで指定されたコンテンツがクリアされ、一時的にトラフィックヒット率が低下します。
- オリジンサーバーに新しいリソースが追加されているかどうかを確認します。オリジンサーバーに新しいリソースが多い場合、CDNノードでback-to-originが発生して、トラフィックヒット率が低下する可能性があります。
- オリジンサーバーに異常がないかどうかを確認します。オリジンサーバーに障害が発生すると、5XXまたは4XXエラーが多くなった場合、トラフィックのヒット率に影響を与えます。
- キャッシュの有効期限ポリシーが正しく設定されているかどうかを確認します。コンソールの「キャッシュ設定」ページで「キャッシュの有効期限設定」セクションを表示します。キャッシュの有効期限ポリシーの優先順位は上から下へ、低から高へであり、即ち、下部のキャッシュポリシーは上部のキャッシュポリシーよりも優先されます。
- Range back-to-originが有効になっているかどうかを確認します。コンソールの「back-to-origin設定」ページで「Range back-to-origin」セクションを表示します。Range back-to-originが無効になっている場合、 back-to-origin時にファイル全体を引き出しますため、 back-to-originトラフィックが増加し、ヒット率が低下します。
- フィルターパラメーターが有効になっているかどうかを確認します。コンソールの「アクセス設定」ページで「フィルターパラメーター」セクションを表示します。フィルターパラメーターが無効になっている場合、フルパスに基づいてキャッシュが実行されます。同じリソースが異なるパラメーターによって要求される場合、マッチングできないと複数回キャッシュされるため、トラフィックの命中率に影響を与えます。

ステータスコード統計にはすべてのステータスコードが含まれていますか。

はい。CDN統計分析の新しいバージョンが公開されると、オリジンサーバーで生成されたステータスコードさえあれば、対応する監視曲線が生成されます。トラブルシューティングのプロセスが容易になります。

省別、キャリア別の統計データはどのように計算しますか。

省別、キャリア別の統計データは、アクセスログのクライアントIPに基づいて計算されます。単純なログ計算を採用しているので、累積された課金対象データは、「すべての省」、「すべてのキャリア」が選択された場合の課金対象データとは異なります。詳細については、上記の質問2をご参照ください。

CDN back-to-originトラフィックはどのように生成されますか。

CDN back-to-originトラフィックは、次の3つの状況で生成されます。
1.要求されたリソースはCDNノードにキャッシュされず、オリジンサーバーからプルされます。
2. 手動で更新されたオリジンサーバーはノードと同期されます。
3. オリジンサーバーは自動更新されます。

CDNトラフィックに異常があるか、DDoSまたはCC攻撃を受けている場合はどうすればよいですか。

ビジネストラフィックがそれほど量に到達しないと思われる場合は、ログをダウンロードして、ビジネスのアクセス状況に基づいて関連するアクセス制限を設定できます。CDNではご利用のビジネスロジックを認識しないため、デフォルトではアクセス要求を制限することがありません。したがって、ビジネス状況に基づいて制限を設定する必要があります。詳細については、ログのダウンロードをご参照ください。

悪意のあるリクエストやWebサイトへのCC / DDoS攻撃を回避するために、次の設定を行うことを強くお勧めします。

1. リンク不正アクセス防止の設定：ビジネスリソースのアクセス元を制御し、ユーザーのHTTPリクエストヘッダーのrefererフィールドの値にアクセス制御ポリシーを設定することにより、アクセス元を制限し、悪意のあるユーザーからの盗用を防ぎます。詳細については、リンク不正アクセス防止の設定をご参照ください。
2. IPブラックリスト/ホワイトリストの設定：悪意のあるIPからの盗用や攻撃などの問題を解決するために、ビジネスニーズに応じて、ユーザーリクエストのソースIPにフィルタリングポリシーを設定できます。詳細については、IPブラックリスト/ホワイトリストの設定をご参照ください。
3. IPアクセス制限の設定：クライアントIPに対して、ノードごとの1秒あたりのアクセス回数を制限することにより、CC攻撃から防御できます。設定を有効にすると、QPS制限を超えるリクエストに対して514エラーが返されます。頻度制限を低く設定すると、通常の高頻度ユーザーの利用に影響する場合があるため、実際の業務状況やユースケースに応じて、適切なしきい値を設定してください。詳細については、IPアクセス制限の設定をご参照ください。
4. 帯域幅上限の設定：ドメイン名の帯域幅の上限を設定できます。特定の統計期間（5分）内にドメイン名で発生した帯域幅が指定されたしきい値を超えると、ユーザーの設定に従って、すべてのアクセス要求がオリジンサーバーに転送されるか、直接CDNサービスを無効にして、すべてのアクセス要求が404エラーが返されます。詳細については、帯域幅上限の設定をご参照ください。

HTTPSに関してよくある質問

最終更新日：：2021-06-16 11:08:36

HTTPSとは何ですか。

HTTPSとは、ハイパーテキスト転送セキュリティプロトコル（Hypertext Transfer Protocol Secure）である。HTTPプロトコルに基づいてデータを暗号化して安全性を確保するためのプロトコルです。HTTPSを設定する場合、ネットワーク全体でデータの暗号化転送機能を実現するために、ユーザーは、ドメイン名に対応する証明書を提供し、ネットワーク全体のCDNノードにデプロイする必要があります。

CDNサービスはHTTPS設定をサポートしますか。

Tencent Cloud CDNは現在、HTTPS設定を完全にサポートしています。ユーザーは自分の証明書をアップロードしてデプロイするか、または[証明書管理コンソール]（https://console.tencentcloud.com/ssl）にアクセスしてTrustAsiaが無料で提供するサードパーティの証明書を申請することができます。

HTTPS証明書を設定するにはどうすればよいですか。

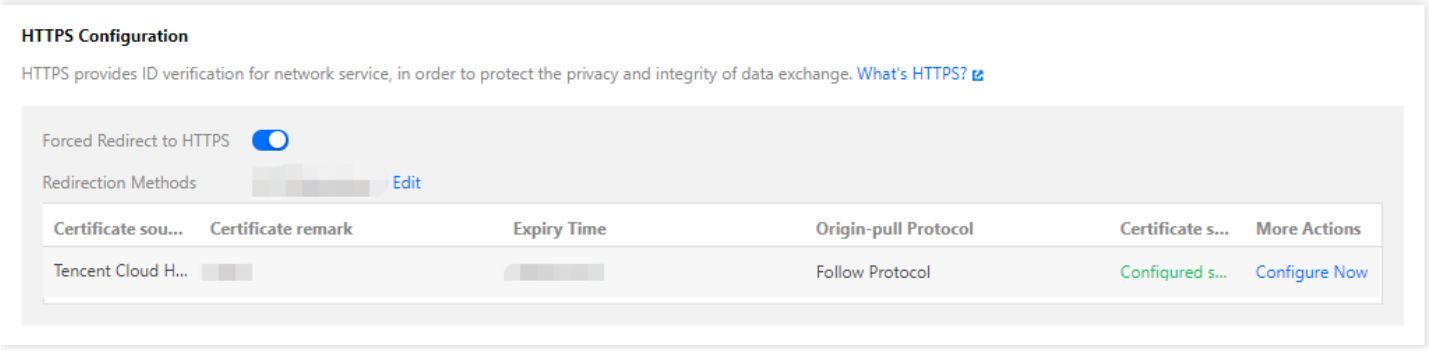
CDNコンソールでHTTPS証明書を設定することができます。詳細については、HTTPS設定をご参照ください。

オリジンサーバーのHTTPS証明書が更新されました。CDNに設定されている証明書は同時に更新する必要がありますか。

必要がありません。オリジンサーバーのHTTPS証明書を更新しても、CDNに設定されている証明書には影響しません。CDNに設定されている証明書の有効期限が近づいているか、すでに切れている場合、HTTPS証明書を更新する必要があります。

ユーザーがHTTPSアクセスのみを許可し、HTTPアクセスを禁止する方法はありますか。

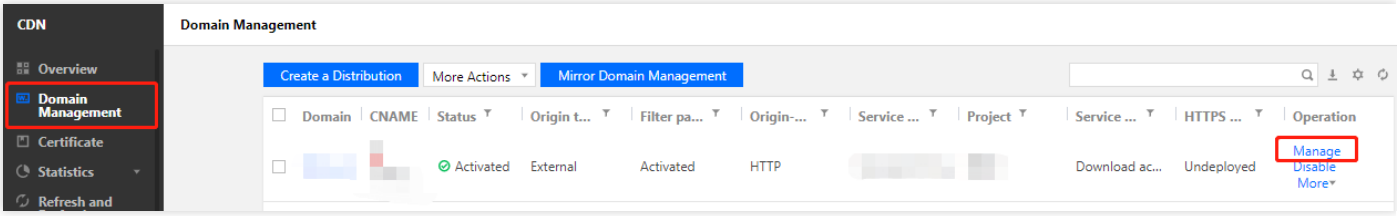
強制リダイレクト機能を使用できます。HTTPS証明書を設定した後、「Http->Https機能」を有効にすることができます。有効にすると、ユーザーがHTTPリクエストを送信しても、HTTPSに強制的にリダイレクトしてアクセスします。



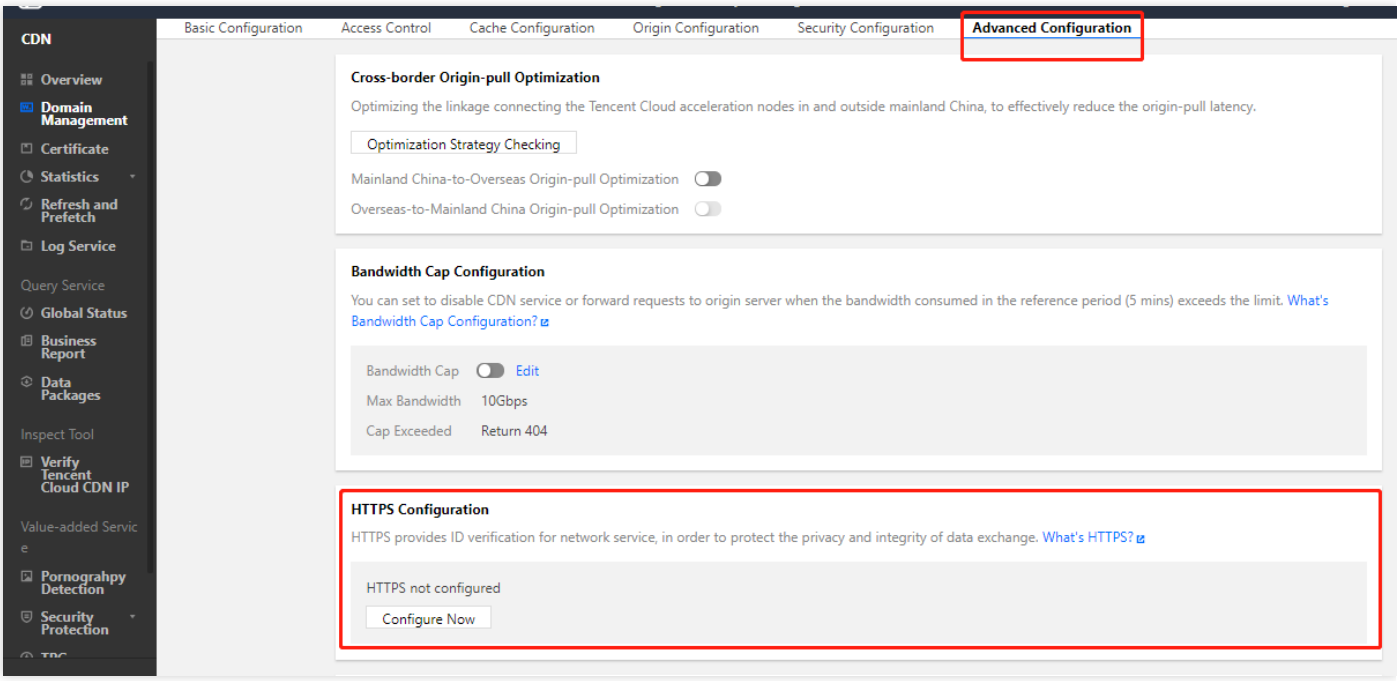
CDNを設定したのに、HTTPSアクセスが機能しないのはなぜですか。

HTTPSアクセスを使用するには、以下の操作を行います。

1. CDNコンソールにログインし、左側のナビゲーションウィンドウで【ドメイン名管理】を選択し、ドメイン名の右側にある【管理】をクリックして、その管理ページに入ります。



2. 【HTTPS設定】をクリックし、HTTPS設定モジュールを見つけて、【設定に進む】をクリックして、証明書管理ページにジャンプし、証明書を設定します。設定手順については、証明書の設定をご参照ください。



証明書が正しく設定されている場合、HTTPSアクセスを有効にできます。

ノードネットワークの問題

最終更新日：：2021-11-24 15:15:37

Tencent Cloud CDNノードはデフォルトのタイムアウト時間はどれぐらいですか。

Tencent Cloud CDNノードはデフォルトのタイムアウト時間は10秒です。

CDN管理においてアクセスドメイン名をオフにすると、CDNノードのファイルはどうなりますか。

現在CDNに接続しているドメイン名のアクセラレーションサービスをオフにすると、CDNノードはドメイン名に対応するアクセス設定を保留しますが、CDNトラフィックは発生しなくなります。同時に当該ドメイン名もアクセスできなくなります。

CDNにアクセスした後、ウェブサイトが開かなくなります。どうやって検査しますか。

まず、アクセスドメイン名のCDN状態が「閉じました」であるかどうかを確認してください。「閉じました」状態である場合は、対応するページが開けられません。「閉じました」状態でない場合は、次の手順通りにさらにチェックしてください。

- pingまたはnslookupを使って、当該ドメイン名のCNAME解決が有効かどうかチェックします。CNAMEがバインドされていない場合は、CNAME設定ドキュメントの操作説明を参照し、お客様のDNSサービスプロバイダにてCNAMEをバインドしてください。
- CNAMEが有効になった後、オリジンサーバーに正常にアクセスできるかどうかをチェックします。

上記の手順でこの問題を解決できない場合は、お手伝いしますので、作業依頼書の提出にてご連絡ください。

ユーザーがアクセスしているどのCDNノードを判断する方法は？

nslookupおよびpingコマンドを使用して、ユーザーがアクセスしたCDNノードのIPアドレスおよびレイテンシ、パケット損失などの基本的なエラー調査情報を取得することができます。

命中率が低い理由は何ですか。

命中率が低いのは次の原因による可能性があります。

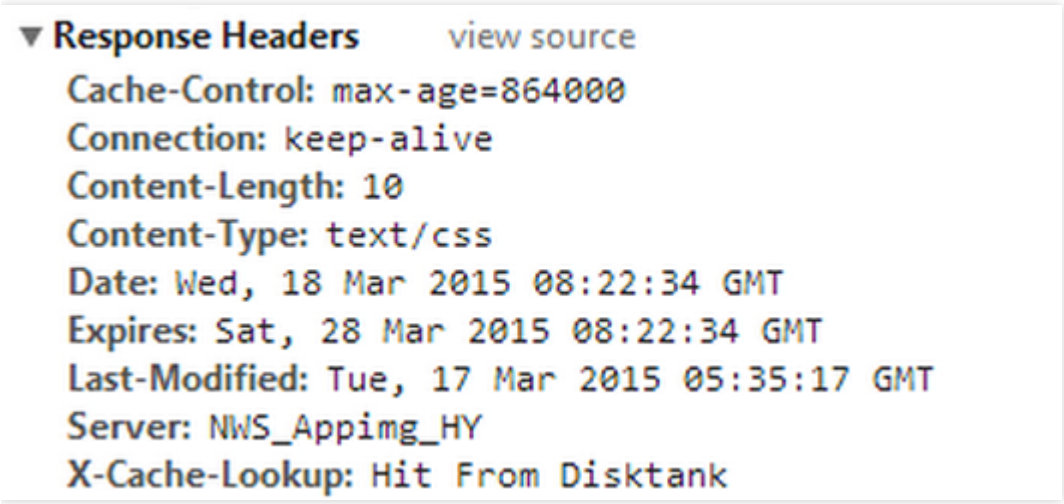
- キャッシュ時間の短いなど、キャッシュ構成の問題です。
- HTTP Header のため、キャッシュできなくなります。オリジンサーバーCache-CoontrolまたはExpiresの設定をチェックしてください。
- キャッシュ可能な内容が少ないなど、オリジンサーバータイプの問題です。
- ウェブサイトのアクセス量が低く、期限切れ時間が短く、命中しているファイルが少ないため、頻繁にオリジンプルされてしまいます。

ユーザーはCDNアクセスが遅いと感じているのはなぜですか。

大きなファイルはダウンロードスピードに注目し、小さなファイルはレイテンシーに注目します。まずアクセスが遅いURLを取得し、スピード測定ウェブサイトを通じてアクセスが遅いかどうかを判断します(推奨ツール：[17ce]（http://www.17ce.com))。
スピードテストが明らかに遅く、オリジンサーバーがユーザー保有オリジンサーバーに属する場合は、チケットを提出してください。お客様のオリジンサーバーのマシン負荷および帯域幅が制限を受けていないかについての調査をご支援いたします。

ユーザーアクセスがCDN Cacheに命中しているかどうかを判断する方法は？

アクセスのレスポンスヘッダーのX-Cache-Lookup情報を確認します。複数のX-Cache-Lookupが同時に返された場合は正常な状態です。Cache Hit/Hit From MemCache/Hit From Disktankが返された時、CDN Cacheにヒットしたことを表します。



- X-Cache-Lookup:Hit From MemCacheはCDNノードのメモリーに命中していることを示します。
- X-Cache-Lookup:Hit From DisktankはCDNノードのディスクに命中していることを示します。

同じ名前のファイルノードから返されたファイルサイズが一致していないのはなぜですか。

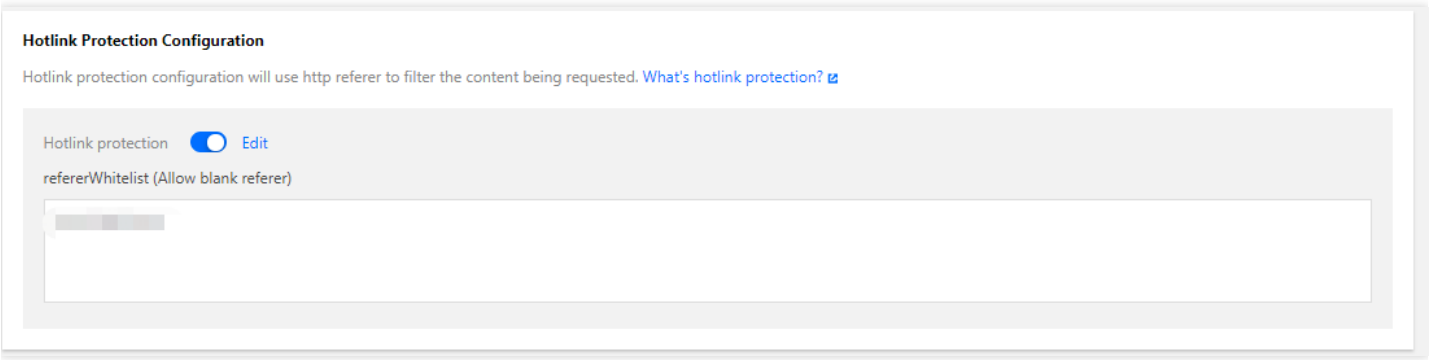
すべてのファイルタイプがデフォルトではキャッシュされるため、CDNノードに異なるファイルバージョンが存在する可能性があります。 解決策：
+ファイルを強制的に更新し、キャッシュをすぐに更新します。

- バージョン番号をつけます。例： `http://www.xxx.com/xxx.js?version=1` 。
- 同じ名前のファイルを使用せずに、他のファイル名に変更します。

上記の手順でこの問題を解決できない場合は、お手伝いしますので、作業依頼書の提出にてご連絡ください。

CDNでホットリンク防止のホワイトリストを設定すると、ウェブサイトに正常にアクセスできなくなるのでしょうか。

ホットリンク防止の設定でホワイトリストを有効にする場合は、同時に【空のrefererを含む】にチェックを入れてください。このようにすると、直接ブラウザを使用してアクセスしますので、ウェブサイトを開くことができます。（ブラウザで直接アクセスする時のrefererは空です）



トラフィック上限設定でDDOS攻撃に対抗できますか。

CDNの主な機能はDDOS攻撃の防御ではありません。主にアクセラレーションに使用します。CDN帯域幅上限設定機能を試しにお使いください。5分間以内に帯域幅の使用状況が統計され、上限のしきい値に達した場合は、設定にもとづき、CDNが各々のレスポンスを行います。**しきい値は最大10000Tbpsまで可能です** 。またサイトに対するAnti-DDoSを実施したい場合は、Secure Content Delivery Networkを使用すれば、防御が可能です。

Tencent Cloud CDNの全ノードのIPを提供することは可能ですか。

安全面の理由により、プラットフォームでは現在CDNノードのIPリストを提供していませんが、ノードのIP所有権照会ページでIP所有権を確認することができます。詳細については、IP所有権の照会をご参照ください。

障害に関する質問

最終更新日：：2020-07-22 18:23:03

CDNで423ステータスコードが返された場合はどうすればよいですか。

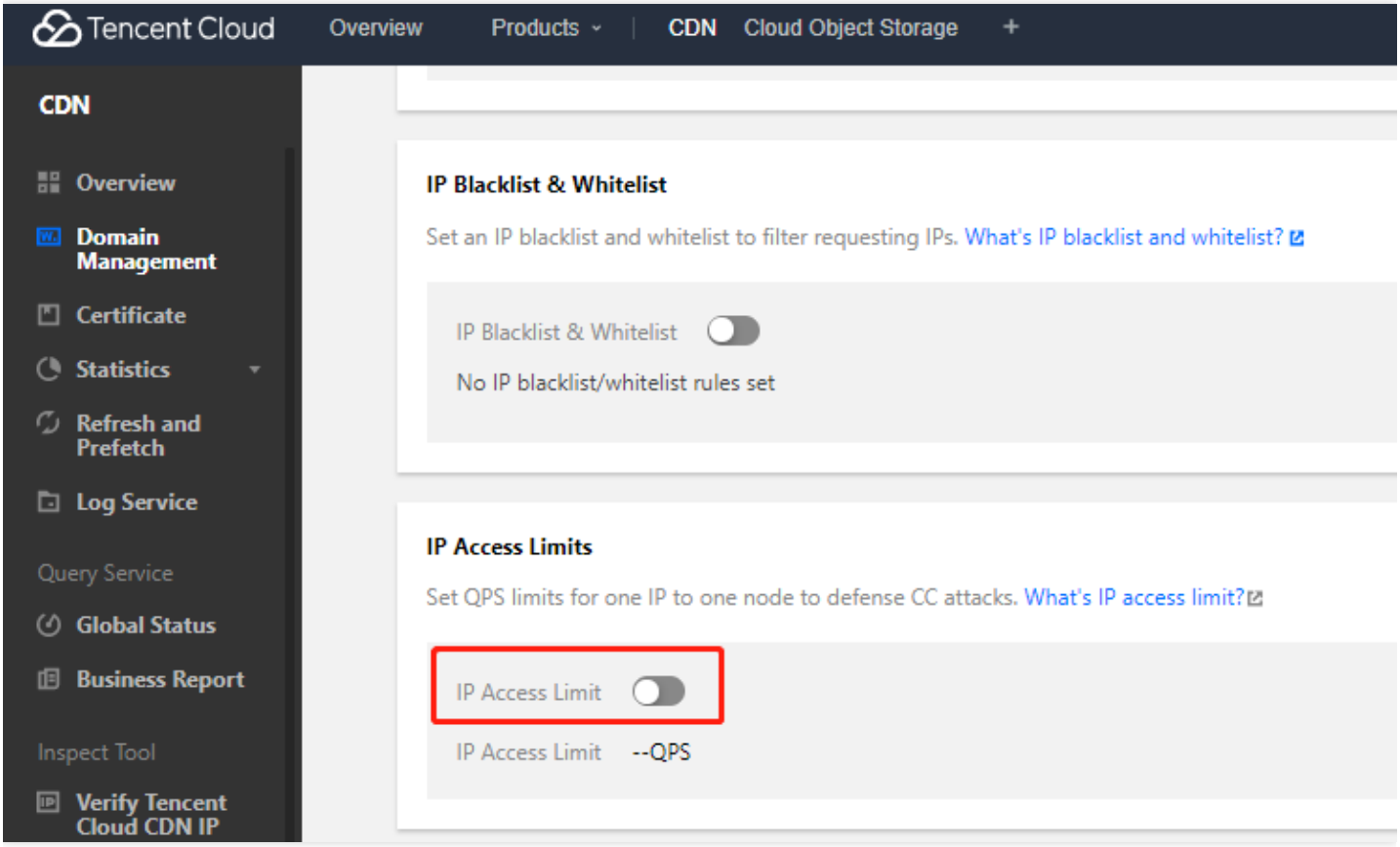
423ステータスコードは、Tencent Cloud CDNのカスタムステータスコードです。CDNサービスがループバックリクエストを検出すると、423エラーが報告されます。以下を確認することをお勧めします。

1. CDNコンソールで設定されたオリジンサーバーを確認します。オリジンサーバーもTencent Cloud CDNのアクセラレーションドメイン名の場合、ループバックリクエストが発生する可能性があります。
2. オリジンサーバーで「HTTPがHTTP301/302へのリダイレクト」が設定されており、CDNコンソールで「follow 301/302」が有効になっている場合、423エラーが発生する可能性があります。「follow 301/302」を無効にすることをお勧めします。

> この方法を利用する場合は、HTTPS設定を有効にして、HTTPSへ強制的にリダイレクトさせ、また、back-to-origin方式を「protocol follow」に変更することをお勧めします。そうしないと、複数回のリダイレクトが発生する可能性があります。設定手順の詳細について、HTTPS設定をご参照ください。

CDNで514ステータスコードが返された場合はどうすればよいですか。

下図に示すように、CDNコンソールで設定されたIPアクセス頻度制限が原因です。



- IPアクセス頻度制限の設定は、単一IPと単一ノードに対して1秒あたりのアクセス数を制限します。制限を超えると、514エラーが返されます。
- 頻度の制限が低く設定されると、通常の高頻度ユーザーの使用に影響する可能性があるため、適切なしきい値に設定してください。詳細については、IPアクセス頻度制限の設定をご参照ください 。

CDNドメイン名から404ステータスコードが返された場合はどうすればよいですか。

次の項目を確認することをお勧めします。

1. オリジンサーバーに正常にアクセスできるかどうかを確認してください。
2. CDNコンソールでオリジンサーバー情報、back-to-origin hostが変更されているかどうかを確認します。これにより、back-to-origin中に404エラーが発生する可能性があります。